

戦後も自民党政治への一貫した 対決者の立場をつらぬく

戦後史においても、アメリカいいなり、大企業中心の自民党政治にたいする一貫した対決者としての立場をつらぬいた政党は、日本共産党だけです。

とくに、1993年以降の政党の離合集散のなかで、日本共産党以外のすべての政治勢力が、自民党政治の加担者であるか、加担者となった歴史をかかえています。そこでの負の歴史が日本の政党政治の弱さになっています。

「二大政党」——民主党の実態は？

「二大政党」といいます
が、一方の民主党は、どう
いう潮流が集まってできた
政党でしょうか。

民主党は、旧社会党、旧
さきがけの出身者など自民
党と連立政権を組んだ経験
を持つ潮流と、旧自由党と
いう自民党から分かれた潮
流とが、2003年に合流し
てできた政党です。

民主党が自民党との「対立軸」をとなえながら、憲法改定でも教
育基本法改定でも、消費税増税でも、自民党との悪政の競い合いと
いう枠内から出ることができないのは、こうした歴史と深くかかわっ
ています。



民主党は、「対立軸」路線といいながら、憲法・教育基本法の改悪でも消費税増税でも、自民党と悪政の競い合いばかりです。写真は10月18日の党首討論。